

スポーツとの出会いの場の充実について

《スポーツとの出会いの場の充実》

子ども自身が幼児期から体を動かすことの楽しさにふれ、すすんで体を動かすようになるためには、家庭や地域、学校などの身近な生活の場でのスポーツ活動を推進していくことが重要であることが「あま市スポーツ推進計画」に掲載されております。

《小中学生の運動やスポーツについての状況》

スポーツ推進計画を策定するにあたって、小中学生を対象に次の4項目のアンケート調査を実施しました。

- ①現在のスポーツ活動について
- ②学校の体育の授業以外でのスポーツや運動の1週間あたりの頻度について
- ③スポーツや運動は好きですか
- ④市のスポーツ教室の利用意向について

結果につきましては、

- ①現在のスポーツ活動について
 - ・学校の運動部活動に所属：35.6%、
 - ・学校の運動部活動以外のスポーツクラブやスポーツ少年団、道場などに所属：31.2%
 - ・どちらにも所属していない：32.2%
- ②学校の体育の授業以外でのスポーツや運動の1週間あたりの頻度について
 - ・行っていない：25.4%
 - ・週に1日：11.2%
 - ・週に2日：10.8%
 - ・週に3日：7.7%
 - ・週に4日：15.2%
 - ・週に5日：14.6%
 - ・週に6日：9.1%
 - ・週に7日：6.0%
- ③スポーツや運動は好きですか
 - ・するのも見るのも好き：36.0%
 - ・するのが好き：29.7%
 - ・好きでも嫌いでもない：20.2%
 - ・見るのが好き：10.2%
 - ・するのも見るのも嫌い：3.1%
- ④市のスポーツ教室の利用意向について
 - ・あっても行かない：45.4%
 - ・好きな種目があれば行きたい：44.9%
 - ・どんな種目でああっても行きたい：8.5%

《アンケート調査の結果を踏まえた今後の取組》

- ・ スポーツや運動に触れる情報発信
- ・ 体を動かすことによる楽しく親しむことへの理解や交流の促進
- ・ 気軽に楽しめるスポーツや運動の推進

上記の取組み方について、どのように進めたらよいか、皆様のご提案や情報等をお聞かせ願いたいと思います。

《参考》本市の小中学に在学する児童・生徒数（令和3年度アンケート調査実施）

令和3年度：7, 282名（小学生4, 805名、中学生2, 477名）

令和6年度：7, 076名（小学生4, 678名、中学生2, 398名）

《取組み状況》

- ・ 3月24日（日）に西枇杷島スポーツセンターにおいて、プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の協力をいただき『スポーツ観戦事業（あま市民デー）』を開催し、「モルック体験会」についても実施いたしました。
- ・ 6月16日（日）に市役所集い広場・交流広場において、「モルック体験会」及び「BMX体験会」を開催いたしました。
- ・ 6月9・16日（日）に市役所展示スペースにおいて「パリオリンピック・パラリンピック大会市民応援事業」として加納虹輝選手が東京オリンピックで獲得した金メダルを展示しました。

《今後の課題》

- 1 関係団体と連携を図りながらスポーツ施設をどのように活用して、気軽にスポーツが楽しめる場所を提供していくか。
- 2 幼児期からスポーツや運動につながる楽しい教室などの提供し、運動習慣を身に付けていくか。また、その情報をどのように発信していくか。
- 3 スポーツや運動が好きな子どもを増やすための施策として関係団体と連携を図っていくか。
- 4 スポーツや運動のきっかけとなるイベント等をどのように開催していくか。